

ホームID	ホーム名		法人名		評価日
2842	エスペランサ登戸		株式会社 フィルケア		H29.2.6
評価機関	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク				H29.2.20

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	B	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	B	6.2.4	A	C
1.2.1	A	A	2.3.8	B	非該当	6.2.5	A	A
1.2.2	B	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	B	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	C	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	A	B
1.4.1	B	B	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	C	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	B	B	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	B	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	B	A	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	B	A	3.1.3	A	B	7.3.2	A	A
1.4.8	B	B	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	C	7.4.1	A	B
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	B	A	7.4.3	A	A
2.1.2	B	B	4.1.2	A	B	7.4.4	A	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	B
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	B	B	7.5.3	A	A
2.2.5	B	B	5.1.1	A	C	7.5.4	A	C
2.2.6	A	A	5.1.2	B	C	7.5.5	A	B
2.2.7	A	A	5.2.1	A	B	7.5.6	B	B
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	C	7.6.2	A	A
2.2.11	A	C	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	B	B	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	B	B	6.1.3	B	A			

【評価機関の所見】

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-4-5	職員との面談を通じて、就業状況を把握し就業状況の改善に取り組んでいる。残業は事前申請としており、1時間で終わらせることを前提として超過勤務を承認している。また、勤務時間内に事務時間がとれるよう主任が職員の負担軽減に配慮している。一方、主任に対しては、夜間勤務について配慮する他、一人で抱え込まないよう施設長が声かけをする等、メンタル面での配慮も行っている。
2-4-3	入居者の安全管理を図るため、見守りマニュアルを作成して、ずり落ちに注意し、フロアに背を向けない等留意事項を明示している。また、夜勤者マニュアルを整備し、常に入居者が安眠できるようどうすればいいか考えて勤務することを求めている。さらに、「ヒヤリハットをあげ事故防止につなげよう」と記載した簡易版のヒヤリハット報告書を用意し、1日1件、全職員が毎月1件報告書をあげることを目標として、報告書の提出を促している。
6-2-8	毎月、ホームの行事や人事の近況を情報発信する媒体として広報紙「エスペランサ」を発行している。カラー刷りで文字を大きく、高齢者にも見やすいように作られ、家族等のもとに届けられている。さらに、居室担当職員手書きのメッセージや行事開催時に撮影した入居者の写真等を同封している。夏祭りには多くの家族等の参加を求めたり、誕生会には対象入居者の家族に声掛けをするなど、入居者と家族等の交流に努めている。
7-5-1	年々、高齢化・ADLが低下する入居者の状況をふまえて褥瘡予防マニュアルをもとに、褥瘡予防に努めている。特に、入居者の状態に応じて、抑臥位や左側臥位ポジショニングなどに対して数枚の写真を添えて個別のマニュアルを作成し職員に周知している。エアマットを導入し必要に応じて体位交換を実施するなど、入居者の身体状況に合わせて心地よく過ごせるよう環境を整え、褥瘡予防に取り組んでいる。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
2-2-11	入居契約書に国土交通省の「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」に則り、トラブルの未然防止に努めると明示している。しかし、ホームでの具体的な取扱文書や「ガイドライン」について用意していない。ホームで退去時の原状回復について対応することがないためとしているが、具体的に入居者からガイドラインの説明を求められ場合に、職員が説明できるようにすることおよび職員に周知するため、明文化された内規等の整備に期待したい。
2-4-1	入居者等からの菓子類等金品の授受については、ホーム内に文書を掲示して、辞退する旨を伝えている。しかし、ホームの内規としては、整備されていない。職員が、菓子などの心づけを辞退することで入居者との関係性に影響があると判断して受け取った場合等の処理手続きが必要と考えられる。ホーム内の内規等を作成するとともに、接遇に関する内部研修やミーティング等で職員に周知することが求められる。
5-1-2	法人が毎年2回実施している「お客様アンケート」の自由記述に食事についての要望が見られるが、食事に特化したアンケートや嗜好調査は行っていない。食事は業者に委託しており、厨房のチーフが食事中、巡回して入居者から意見を聞き取ることもあるが、食事会議に入居者が入ったり、食事懇談会などの開催はない。入居者から意見や要望を聴取する機会を持つとともにニーズに即した食事の提供に取り組むことが望まれる。
6-2-4	入居に際して、事前に聞き取った情報を個別のアセスメントシートに記載しており、その内容を職員に口頭で周知している。しかしながら、受け入れ時の暫定ケアプランは策定されていない。入手した情報をもとに暫定ケアプランを策定し、プランに沿ったサービスの提供を行い入所者の不安感の払拭に努められたい。さらに、入居後は日々の状態や身体状況の確認を行いながらプランの見直しを図り、本プランにつなげられたい。